

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2014年2月6日から2019年3月19日まで
運用方針	主としてスイス取引所に上場している企業の株式に投資を行うことによって、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	スイス取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	①株式への投資割合には制限を設けません。 ②新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以内とします。 ③投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ④外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ⑤デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定します。
分配方針	毎決算時（原則として毎年2月5日および8月5日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記の範囲内で、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかつた利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

## UBS スイス株式オープン

償還運用報告書（全体版）  
償還日 2019年3月19日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBSスイス株式オープン」は、2019年3月19日をもちまして信託約款の規定に基づき償還させていただきましたので、ここに謹んで設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

当ファンドをご愛顧いただきましたことに対して、厚く御礼申し上げます。

## UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町 1-5-1

大手町ファーストスクエア イーストタワー

〈お問い合わせ先〉

投信営業部

03-5293-3700

〈受付時間〉

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2019. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

## \* 最近5期の運用実績 \*

決 算 期	基 準 価 額 ( 分 配 額 )	税 分 込 配	み 金 期 騰	中 率 落 率	株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比	純 資 産 額 総
7 期 (2017年8月 7日)	10,220		0	13.4	99.0	—	144
8 期 (2018年2月 5日)	10,568		0	3.4	99.2	—	112
9 期 (2018年8月 6日)	10,196		0	△ 3.5	98.5	—	99
10期 (2019年2月 5日)	9,948		0	△ 2.4	99.1	—	81
(償還時)	(償還価額)						
11期 (2019年3月19日)	10,472.00			5.3	—	—	72

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 株式先物比率は買建比率-売建比率。

(注3) 当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

(注4) 株式組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。（以下同じ）

## \* 当期中の基準価額等の推移 \*

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比
(期 首) 2019年2月 5日	9,948	—	99.1	—
2月末	10,388	4.4	98.6	—
(償 還 時) 2019年3月19日	(償還価額) 10,472.00	5.3	—	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。

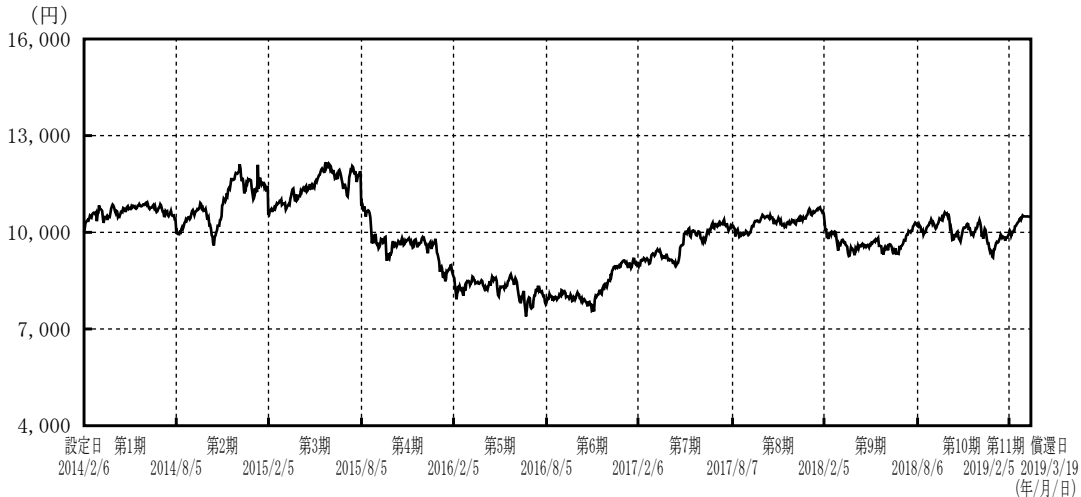
(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 株式先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

## \* 設定以来の運用状況 \*

## ＜設定以来の基準価額の推移＞



- 基準価額は設定時の10,000円から、既払分配金2,250円（税引前）込みで2,722.00円値上がりしました。その結果、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は、+28.3%となりました。

## 投資環境について

## ＜第1期（2014年2月6日～2014年8月5日）＞

当期は、良好な欧米経済指標の発表や、米国での利上げ観測の後退などを背景に欧米株式市場が上昇したことを受け、スイス株式市場も上昇しました。当期のスイスフラン／円相場は、期初に円への逃避需要が後退し大幅なスイスフラン高／円安となりましたが、期の後半は欧州中央銀行（ECB）による追加金融緩和の見込みからユーロ安となり、スイスフランもこれにつれて下落したことから、前期末比ではほぼ横ばいの展開となりました。

## ＜第2期（2014年8月6日～2015年2月5日）＞

当期は、期央に欧州経済の減速懸念やエボラ出血熱拡大への警戒感、およびスイスフラン・ショックから大きく下落する場面がありましたが、米国景気の底堅さが確認されたことなどを受けて反発し、スイス株式市場は小幅上昇しました。またスイスフランに関しては、日本での追加金融緩和により他通貨に対して相対的に円が下落したことや、スイスでの為替介入（対ユーロ）の上限撤廃によりスイスフランが急騰したことから、前期末比では大幅なスイスフラン高／円安水準で期末を迎えました。

## ＜第3期（2015年2月6日～2015年8月5日）＞

当期は、ECBが量的金融緩和策に対する継続姿勢を示したことや、ギリシャへの新たな金融支援が合意に至ったことなどから市場のリスク選好が回復し、スイス株式市場は前期末比で大きく上昇しました。為替相場においては、当初はスイスフラン安／円高基調が続きました。しかし、コモディティ価格の安定・反発から過度のデフレーション懸念が修正されると欧州金利は上昇し、為替相場はこれを受けてスイスフラン高／円安に転じ、前期末とほぼ同じ水準を回復して期末を迎えました。

## &lt; 第4期（2015年8月6日～2016年2月5日） &gt;

当期は、資源価格の下落、中国景気の減速懸念、地政学的リスクの高まり（中東情勢の緊迫化）などを背景に世界的にリスク回避の動きが強まり、スイス株式市場は大きく下落しました。為替相場においてもリスク回避の動きが強まったことで、安全資産としての円が買われたことにより、スイスフラン安／円高が進行しました。

## &lt; 第5期（2016年2月6日～2016年8月5日） &gt;

当期は、商品市況の回復や2016年3月のECBによる追加金融緩和策を好感し、欧州株式全体が回復を見せたことから、スイス株式市場も上昇しました。その一方、為替相場では、米国利上げ観測の後退や欧州信用不安の再燃、英国のEU離脱懸念などから安全資産としての円が買われる傾向にあり、前期に引き続いてスイスフランは対円で下落しました。

## &lt; 第6期（2016年8月6日～2017年2月6日） &gt;

当期は、トランプ氏が米大統領選で勝利し、次期米政権への政策期待から市場のリスク志向が高まった結果、世界的に株式が買われたことなどにより、スイス株式市場は上昇しました。為替相場でも、次期米政権の経済政策への期待から投資家のリスク志向が高まり、これまで安全資産として買われてきた円を売り戻す動きが主導する形でスイスフラン高／円安が進行しました。

## &lt; 第7期（2017年2月7日～2017年8月7日） &gt;

当期は、世界経済の回復が進む中、仏大統領選挙での親欧州連合（EU）派マクロン氏の勝利を受けた欧州政治リスクの後退や、欧州企業の好決算などが好感され、スイス株式市場は大幅に上昇しました。為替相場では、仏大統領選挙の結果、欧州景気の回復期待などからスイスフランは一時対円で大きく上昇しましたが、米国利上げペースの鈍化観測などから円高／ドル安が進行するとスイスフランも対円で下落に転じ、前期末比では若干のスイスフラン高／円安水準で期末を迎えました。

## &lt; 第8期（2017年8月8日～2018年2月5日） &gt;

当期は、世界的な好況、特に欧州経済が順調に回復する中、スイス経済や企業業績も好調に推移し、世界的なリスク選好ムードと相俟ってスイス株式市場は上昇基調となりました。しかし、期末にかけては、欧米長期金利の上昇懸念などから上昇幅を縮小して期末を迎えました。為替相場については、スイス経済が回復基調を強め、欧州の主要中銀が金融緩和策の縮小を示唆する中、スイスフランは対円で上昇しました。

## &lt; 第9期（2018年2月6日～2018年8月6日） &gt;

当期は、欧米の株式市場が堅調に推移したことの他、スイスフラン安の進行や良好な経済指標などを背景にスイス株式市場は概ね上昇基調となりました。また、為替相場に関しては、米国の保護主義的な通商政策に対する警戒感が高まったことなどから再び円を買う動きが強まり、スイスフランも対円で下落しました。

## &lt; 第10期（2018年8月7日～2019年2月5日） &gt;

当期は、米中貿易摩擦問題、英国の欧州連合（EU）離脱交渉をめぐる先行き不透明感、イタリアの財政問題、米国の今後の利上げ見通しなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことを受けて、スイス株式市場は下落しました。それらを受け、為替相場でも、欧州通貨を売り、安全資産とされる円を買う動きが強まりました。その結果、スイスフランは対円で下落し、前期末比ではスイスフラン安／円高の水準で期末を迎えました。

## &lt; 第11期（2019年2月6日～2019年3月19日） &gt;

当期は、米中通商協議に対する進展期待などから、世界的に株価が反発する中、スイス株式市場も上昇しました。為替相場では、米中通商摩擦に対する懸念が緩和したことや、株式などリスク資産の堅調な動きが円の売り戻しの材料となり、前期末比ではスイスフラン高／円安の水準で期末を迎えました。

## 運用経過

### <当ファンドのポートフォリオについて>

■当ファンドは、主としてスイス株式を投資対象とし、優れた技術力、ブランド力によって、グローバルに競争力の高い事業を展開するスイス企業を中心に、中長期的な収益成長力に照らして投資妙味が高いと判断される銘柄を組み入れました。なお、期中の株式組入比率は概ね高位を維持しました。

### ○期中の主な動き

スイス企業の株式への投資を通じて資産価値を最大化するべく、上記運用方針に則り、期初より運用を行いました。なお、**2019年3月19日**でファンドを繰上償還することとなったため、保有銘柄の流動性や売却に伴う株価への影響、および償還に関わる一連の事務手続きに要する日数等も考慮し、同年3月初旬より株式の売却を実施、現金化を完了の上、償還日を迎えました。

### <基準価額の主な変動要因>

■設定時に**10,000円**でスタートした基準価額は、既払分配金**2,250円**（税引前）込みで**2,722.00円**値上がりしました。その結果、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は、**+28.3%**となりました。基準価額が上昇したのは、組入株式の価格上昇などのプラス（上昇）要因が、為替変動（スイスフラン安/円高）や信託報酬およびその他費用（保管費用等）を負担したことなどのマイナス（下落）要因を上回ったことによるものです。

### <ベンチマークとの差異について>

■当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

## 分配金について

■分配金については、基準価額水準および市況動向を勘案し、第1期は**250円**（税引前）、第2期から第3期まではそれぞれ**1,000円**（税引前）としました。また、第4期から第10期までは分配を行いませんでした。なお、第11期（償還期）までに信託財産中に留保されてきた利益につきましては、償還価額に含みお支払いいたしております。

## \* 1万口当たりの費用明細 \*

項目	当期 2019/2/6~2019/3/19		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	20円	0.194%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は10,388円です。
（投信会社）	（9）	（0.087）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（10）	（0.099）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（1）	（0.008）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料 （株式）	8 （8）	0.080 （0.080）	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
その他費用	21	0.206	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（21）	（0.200）	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	（0）	（0.002）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（0）	（0.004）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（0）	（0.000）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	49	0.480	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## \* 期中の売買及び取引の状況 \*（自 2019年2月6日 至 2019年3月19日）

## 株 式

	買		付		売		付	
	株	数	金	額	株	数	金	額
外国		百株				百株		
ス イ ス	—		千スイス・フラン	—	92		千スイス・フラン	754

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

## \* 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 \*

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	83,866千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	71,037千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	1.18

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## \* 主要な売買銘柄 \* (自 2019年2月6日 至 2019年3月19日)

## 株 式

買 付				売 付					
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
							1	19,341	10,073
							0.457	14,089	30,830
							1	12,494	9,900
							0.192	6,887	35,871
							3	5,268	1,410
							0.112	5,253	46,908
							0.518	4,435	8,562
							0.013	3,693	284,079
							0.119	3,026	25,429
							0.492	2,887	5,868

(注) 金額は受け渡し代金。

## \* 利害関係人等との取引状況等 \* (自 2019年2月6日 至 2019年3月19日)

## (1) 期中の利害関係人等との取引状況

期中の利害関係人等との取引はありません。

## (2) 利害関係人等の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
株 式	—	5	—

## (3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人等への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	57千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	0.141千円
(B) / (A)	0.2%

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等であり、当ファンドに係る利害関係人等とはユーピーエス・エイ・ジー（銀行）です。

**\* 組入資産明細表 \*** (2019年3月19日現在)  
 償還時における有価証券等の組入はありません。

**外国株式**

銘	柄	期	首	業	種	等
		株	数			
(スイス)			百株			
ADECCO GROUP AG-REG			4	商業・専門サービス		
GEBERIT AG-REG			0.35	資本財		
LONZA GROUP AG-REG			0.68	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス		
NOVARTIS AG-REG			12	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス		
NESTLE SA-REG			19	食品・飲料・タバコ		
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN			4	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス		
SCHINDLER HOLDING-PART CERT			1	資本財		
SGS SA-REG			0.13	商業・専門サービス		
ZURICH INSURANCE GROUP AG			1	保険		
SWISS LIFE HOLDING AG-REG			1	保険		
DKSH HOLDING AG			2	商業・専門サービス		
CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG			5	耐久消費財・アパレル		
CEMBRA MONEY BANK AG			1	各種金融		
UBS GROUP AG-REG			37	各種金融		
合 計	株 銘	柄	数			
			92			
			14			

(注) 株数の単位未満は切り捨て。

**\* 投資信託財産の構成 \***

(2019年3月19日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円	%
	72,589	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	72,589	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。



## \* 資産、負債、元本及び償還価額の状況 \*

(2019年3月19日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	72,589,409円
コール・ローン等	72,589,409
(B) 負 債	153,699
未 払 解 約 金	3,191
未 払 信 託 報 酬	145,777
未 払 利 息	204
そ の 他 未 払 費 用	4,527
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	72,435,710
元 本	69,170,814
償 還 差 益 金	3,264,896
(D) 受 益 権 総 口 数	69,170,814口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額(C/D)	10,472円00銭

[元本増減]

期首元本額	81,469,819円
期中追加設定元本額	24,498円
期中一部解約元本額	12,323,503円
1口当たり純資産額	1.0472円

## \* 損益の状況 \*

(自2019年2月6日 至2019年3月19日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	257,552円
受 取 配 当 金	260,603
支 払 利 息	△ 3,051
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	3,639,594
売 買 益	4,295,904
売 買 損	△ 656,310
(C) 信 託 報 酬 等	△ 294,379
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	3,602,767
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,871,714
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,533,843
(配 当 等 相 当 額)	( 1,692,878)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 159,035)
償 還 差 益 金(D+E+F)	3,264,896

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## \* 投資信託財産運用総括表 \*

信託期間	投資信託契約締結日	2014年2月6日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年3月19日		資産総額	72,589,409円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	153,699円
				純資産総額	72,435,710円
受益権口数	435,000,000口	69,170,814口	△365,829,186口	受益権口数	69,170,814口
元本額	435,000,000円	69,170,814円	△365,829,186円	1万口当たり償還金	10,472.00円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	599,423,400円	601,203,107円	10,030円	250円	2.5000%
第2期	228,612,349	241,630,467	10,569	1,000	10.0000
第3期	217,536,457	235,325,950	10,818	1,000	10.0000
第4期	296,527,234	255,902,815	8,630	0	0.0000
第5期	176,854,310	138,387,317	7,825	0	0.0000
第6期	155,544,329	140,221,022	9,015	0	0.0000
第7期	141,225,908	144,326,303	10,220	0	0.0000
第8期	106,190,188	112,219,671	10,568	0	0.0000
第9期	97,707,710	99,618,242	10,196	0	0.0000
第10期	81,469,819	81,043,566	9,948	0	0.0000

## \* 償還金のお知らせ \*

1万口当たり償還金	10,472円00銭
-----------	------------

◇償還金は、2019年3月26日（火）までにお支払いを開始しております。

◇償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分に20.315%（所得税15.315%、地方税5%）の税金がかかります。